

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年7月29日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



平成23年社会生活基本調査が実施されます

あなたは、いつも何時に起きて、何時ごろ布団に入っていますか。熊本県民の主な行動の平均時刻をみると、平日の起床時刻は午前6時35分、就寝時刻は、午後10時58分となっています。

日曜日になると、さすがにゆっくり寝たいと思う人が多いのか、起床は午前7時10分、就寝時刻は、午後10時51分と平日よりも早くなっています。

全国と比べてみると、いずれの時刻も早くなっており、早寝早起きの県民といえそうです。

そのほかの時刻については、下表のとおりとなっています。

平日の「朝食開始時刻」と日曜の「出勤時刻」を除き、全国より行動開始時刻が早くなっています。特に、平日の「出勤時刻」及び「帰宅時刻」については、47都道府県中第5位、平日の「就寝時刻」については同じく第11位と早くなっています。

熊本県民の曜日別にみた主な行動の平均時刻

～「平成18年社会生活基本調査」より～



	平日 〇時〇分		土曜 〇時〇分		日曜 〇時〇分	
	熊本県	全国	熊本県	全国	熊本県	全国
起床時刻	6:35	6:39	7:05	7:07	7:10	7:23
朝食開始時刻	7:14	7:12	7:29	7:33	7:42	7:46
出勤時刻(有業者)	8:15	8:28	8:46	8:53	9:28	9:27
帰宅時刻(有業者)	18:25	18:58	17:58	18:25	18:31	18:35
夕食開始時刻	18:58	19:09	18:48	18:53	18:34	18:46
就寝時刻	22:58	23:16	23:15	23:20	22:51	23:04

このように、私たちの生活行動や生活時間を調査し、さまざまな行政施策に役立てようというのが、5年ごとに実施される社会生活基本調査です。この調査は昭和51年の開始以来、5年ごとに実施されており、今回は第8回目となる調査の概要を紹介します。

■ 調査の目的は？

○国民のライフスタイルの実態を明らかにします

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分や自由時間等における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動との関わりなど国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。

■ 今回の調査のねらいは何ですか？

○ワーク・ライフ・バランスや地域コミュニティ活動など、社会的ニーズの高い事項についての把握の充実。

今回の調査では、少子高齢化や非正規職員の増加などの就業構造の変化が進み、我が国の社会経済状況が

大きく変化する中で、ワーク・ライフ・バランスの状況や地域コミュニティ活動の実態把握の充実とともに、生活時間の国際比較性の向上を図るなど、よりの確に社会生活の実態をとらえることをねらいとしています。

■ 調査はどのように実施されますか？

○10月20日現在で実施します

なお、一日の生活時間の配分に関する調査は、10月15日から23日までの9日間のうち指定した連続する2日間の行動について行います。

○10歳以上の世帯員が対象です

調査の対象は、熊本県内では無作為選定の約1,600世帯です。

全国では、無作為に選定した約8万4千世帯(10歳以上の世帯員約20万人)です。

○調査は調査員を通じて行います

調査は、「総務省—都道府県—指導員—調査員—調査世帯」の流れで、**調査員が調査世帯ごとに調査票を配布し、回収する方法**により行います。

また、今回、インターネットによる回答も**一部可能**とします。

■ どのようなことを調査するのですか？

○国民の生活時間の配分や自由時間等における主な活動について調査します

- (1) 1日の生活時間の配分に関する事項
- (2) 過去1年間の生活行動(①～⑤)に関する事項
 - ① 学習・研究
 - ② ボランティア活動
 - ③ スポーツ
 - ④ 趣味・娯楽
 - ⑤ 旅行・行楽
- (3) ふだんの就業状態等世帯員の属性に関する事項
- (4) 住居の種類等世帯の属性に関する事項

○調査は2種類の調査票により行います

1日の生活時間の配分に関する調査は、①行動をあらかじめ決められた分類に当てはめて記入するプリコード方式の調査票(調査票A)のほか、②日誌のように自由に記入するアフターコード方式の調査票(調査票B)を用いて行います。

調査票Aについては、大規模な標本で調査し、地域別集計や家族類型を詳細に区分した集計を行います。

調査票Bについては、標本規模は小さいものの、行動を詳細に区分できることから家事時間などの詳細な分析が可能となるほか、アフターコード方式が国際的に主流となっていることにも対応し、生活行動の国際間比較が可能となります。

■ 今回の調査で充実させたことは何ですか？

○最近の社会経済情勢の変化を踏まえた調査の充実を図ります

- (1) ワーク・ライフ・バランスの分析に資する調査事項として、勤務形態、年次有給休暇の取得日数、就業希望時間、育児支援の利用状況などを追加します。
- (2) 労働時間の分析に資する事項として、個人の年間収入やふだんの健康状態を追加します。
- (3) 地域コミュニティ活動等に関する統計の整備の観点から、各種の「ボランティア活動」について、NPOや地域に根付いた組織との関わりや、1回の活動当たりの平均時間を把握します。
- (4) ワーク・ライフ・バランスや、育児・介護に関する集計を充実させます。
- (5) 国際比較性の向上のため、生活時間に係る行動分類を細分化して集計します。

■ 参考リンク

[総務省統計局 社会生活基本調査のページ](http://www.stat.go.jp/)



熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、8月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp